

マルヤナギ食育活動

神戸市保健福祉局主催の食育活動
「第8回こうべ食育フェア」出展のご案内

煮豆・佃煮のマルヤナギブランドを展開する株式会社小倉屋柳本（神戸市東灘区 代表取締役社長：柳本一郎）は、神戸市保健福祉局主催「第8回 こうべ食育フェア」の目的（下記参照）に賛同し出展いたします。（2006年から毎年出展しており、今年で5回目の出展）

【第8回 こうべ食育フェア概要】

- ・日 時：2011年6月18日（土）11：00～16：00
- ・場 所：スペースシアター
（神戸市中央区東川崎町1丁目3番3号 神戸ハーバーランドセンタービルB1F）
- ・テーマ：「神戸の食育に取り組む」「こうべの食育を支える」
- ・対 象：市民（主に、子供と保護者を中心に大人への啓発も同時に行う）
- ・目 的：1）「食育」とは何か、市民に啓発すると共に、子供には食に親しみ、楽しく学べる食体験を通じ、食の大切さを伝える。保護者等に対しては、その食体験を子供と共に体験することで、子どもへの食育の重要性を認識してもらい、家庭での食育実践を促す。
2）各団体が開催する食育活動を紹介し、市民の積極的な参加を促す。
3）市民と食育推進活動団体との交流、食育推進活動団体間の交流を図る。

【弊社の出展内容】

フェアのテーマでもある「こうべの食育を支える」に関連し、今回の企業テーマは「豆や昆布とお友達になろう！」と設定しました。自社製品の原料でもある「豆や昆布」を身近に感じ、楽しく食べることや身近な食品に関心を持ってもらうことを目的とし、子ども対象としてテーマに基づいたゲーム3種のスタンプラリーを実施。
自社製造の商品の試食もあり。



昨年の様子



ゲーム内容

豆つかみゲーム

滑りやすい塗箸で、豆を皿から皿へと運ぶ。大小・形も様々な豆を用意し、難易度の変化もあり。乾豆を使うことで、原料に触れ、興味を促し、箸の持ち方の躰も同時に実践できる。

旬あてゲーム

色々な食材のカードを一番おいしいと思う季節のところに置いていく。年中食べることの出来る食材にも、一番おいしい時期があることを知ってもらい、関心を持たせる。

なんだろうBOX

食材を入れた中が見えない箱に手を入れ、中に入っている食材を言い当てる。食材が見えない状態で食材に触れることで、手に意識が集中され、体感をすることで新しい発見を促す。

上記3種のゲームをスタンプラリーにし、全てのスタンプを集めると「食博士認定証」と「風船」、「大豆の苗」をプレゼント。
大豆の苗は準備予定ですが、変動することもあります。